

プロポーザル現場説明書

1 事業計画等

(1) 業務の名称	道の駅かみおか再整備事業基本設計業務委託
(2) 敷地の場所	秋田県大仙市北檜岡字船戸187番地
(3) 敷地面積	約16,531 m ² (取得予定地2,245 m ² を含む)
(4) 構造	提案による
(5) 計画床面積	地域振興施設 1,200 m ² 程度 その他付属建物 200 m ² 程度
(6) 計画階数	1階 (一部2階)
(7) 概算事業費	約13億6,000万円 (本体工事費・外構工事・解体工事費・用地取得費)

2 計画概要

(1) 事業の目的
「道の駅かみおか」は平成8年6月28日に県内7番目、国道13号沿いでは県内初の道の駅として開駅した。令和6年度は約15万人に利用され、本市の観光振興や地域活性化等の重要な拠点施設となっている。 開駅から29年が経過し、施設設備の経年劣化が顕在化しており、地域振興機能である物産販売エリアやレストランスペースが手狭になっている。また、駐車可能台数も昼食時やイベント開催時には駐車場不足となっており、利用者が求めるニーズに対応できていない状況である。 道の駅が担う、「休憩機能」、「情報発信機能」、「地域連携機能」、災害時や非常時における「防災機能」は、今後もその役割は増していくものと思料されるほか、現在では、道の駅そのものが観光目的地のひとつであり、「地方創生・観光を加速する拠点」(第3ステージ)と位置づけられるなど、その重要性もますます高まっている。 こうした背景から、「道の駅かみおか」の施設の魅力や利便性の向上を図り、交流人口の拡大、賑わい創出に寄与することを目的にリニューアルを進める。
(2) 施設計画の概要
本事業は、既存施設(地域特産品直売施設・休憩室及び情報コーナー・屋台市場・野菜直売所)を解体し、休憩・情報発信施設、トイレ、物販施設及び飲食施設等を一つの施設に集約して建築する計画としており、令和10年7月のリニューアルオープンを予定している。可能な限り、建築しながら既存施設を継続して利用できるように考慮した計画とすること。

○導入施設

基本コンセプト「Experience 大仙！～大仙を体験！～」に基づき、次の施設を導入する。
計画面積や規模、要求事項は下記の表のとおりである。

① 屋内施設（地域振興施設）

導入施設	機能		計画面積または規模	要求事項
トイレ	休憩		190㎡	24時間利用可能とし、こどもトイレ、近くに授乳室等を設けること。 物販施設、飲食施設へ誘客できる配置とすること。
休憩施設	休憩		182㎡	24時間利用可能とし、小上がりスペースを設けること。 物販施設、飲食施設へ誘客できる配置とすること。
情報発信施設	情報	地域	-	休憩施設に含み、道路情報のほか、市内の観光情報、地域イベントを発信することができる施設とすること。
物販施設	地域		186㎡	ベビーカー、車椅子利用者に配慮した通路幅を確保すること。
飲食施設	地域		563㎡	レストラン、フードコートを整備。子育て世帯向け席、カウンター席、団体（集会所としても）利用ができる場所を設けること。
観光振興施設	情報	地域	-	休憩施設に含み、市内の観光情報を発信し、市内回遊を促す施設とすること。また、秋田県の少年野球発祥の地であることから、「野球」をメインとした市の観光資源等の情報を発信できる機能を設けること。
展望スペース	地域	防災	60㎡	周辺の風景を眺めることができるスペースとし、また、浸水時には垂直避難場所とすること。
その他			71㎡	従業員休憩室の他に、テナント向け休憩室を設けること。
合計（延床面積／建築面積）			1252㎡ / 1192㎡	

② 屋外施設

導入施設	機能		計画面積または規模	要求事項
駐車場	休憩		小型車 120台 身障者 3台 大型車 14台	運転者、高齢者・幼児等の歩行者がともに安全に通行できる配置とすること。 駐車場と施設との段差を無くすこと。
イベント広場	地域		600㎡	
防災倉庫	防災			非常時には備蓄品を出し入れしやすい場所に配置すること。

※詳細については、別添「道の駅かみおか再整備事業基本計画」を参照すること。

(3) 位置図



(4) 敷地の状況

現在、位置する敷地に隣接（西側）する用地を取得し設計区域とする。



(5) その他、添付図書等

≪事業スケジュール(予定)≫

令和 8年度 基本設計、実施設計(解体設計含む)、造成設計、用地取得 等

令和 9年度 本体工事 等

令和 10年度 リニューアルオープン(7月)

≪添付図書≫

○ 道の駅かみおか再整備事業基本計画